

「東西線ソーラー発電所」計画、続々進行中

みんなECO. 東西線地上駅3駅に太陽光発電システムを新たに導入

既設の南行徳駅にも太陽光パネルを増設し、さらにパワーアップします

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、2020年度に向けた長期環境戦略「みんなでECO.」を掲げ、東西線地上駅へメガソーラー規模の太陽光発電システムを導入する「東西線ソーラー発電所」計画を展開していますが、平成25年8月26日（月）に西葛西駅、8月27日（火）に葛西駅、原木中山駅の計3駅に太陽光発電システムを新たに導入いたします。また、既設の南行徳駅の太陽光パネルを増設し、8月26日（月）から稼働いたします。

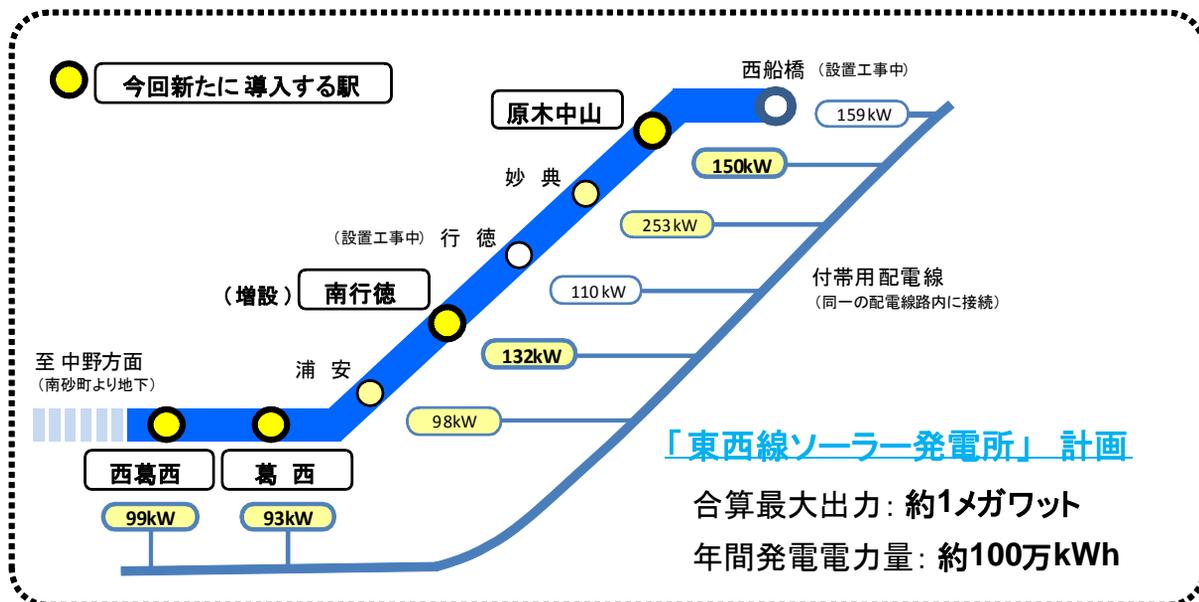
当社では、千代田線北綾瀬駅、東西線南行徳駅・妙典駅・浦安駅に続く太陽光発電システム導入となり、これにより導入された駅は合計7駅となります。

今回新たに導入した3駅及び南行徳駅増設分の合算最大出力は434kW、発電開始後の年間発電電力量は約434,000kWhを見込んでいます。これにより、CO₂排出量換算で約200t（一般家庭127世帯分）が削減されます。発電した電力は、駅のエスカレーター・エレベーター、照明等の付帯用電力※に使用します。また発電量が多い場合、隣接の駅に融通して利用することが可能です。

今後も東西線地上駅2駅（行徳駅・西船橋駅）に太陽光発電システムを順次導入する予定であり、引き続き再生可能エネルギーの利用を進め、環境負荷低減に貢献してまいります。

今回太陽光発電システムを導入する4駅の概要は、別紙のとおりです。

※付帯用電力とは、駅などの照明、バリアフリー施設、空調、信号、通信などの電気設備用電力を指す



《太陽光発電システム 新規導入駅の概要》



西葛西駅



葛西駅



原木中山駅



南行徳駅

駅名		パネル面積	発電能力	年間発電量	CO ₂ 削減効果
西葛西駅		797m ²	99kW	99,000kWh	45t-CO ₂
葛西駅		616m ²	93kW	93,000kWh	43t-CO ₂
南行徳駅	(増設分)	620m ²	92kW	92,000kWh	43t-CO ₂
	(既設との合計)	915m ²	132kW	139,000kWh	62t-CO ₂
原木中山駅		1,022m ²	150kW	150,000kWh	69t-CO ₂

《参考：東京メトロの太陽光発電システム導入状況》



千代田線北綾瀬駅



東西線妙典駅



東西線浦安駅

路線名	駅名	使用開始月	発電能力	年間発電量
千代田線	北綾瀬駅	平成20年9月	20kW	21,000 kWh
東西線	南行徳駅	平成24年3月	40kW	47,000 kWh
	妙典駅	平成24年9月	253kW	253,000 kWh
	浦安駅	平成25年3月	98kW	98,000 kWh